


マリンバ 杓野 勢津子 *Setsuko Kutsuno* 


京都市立芸術大学音楽学部を首席で卒業。卒業に際し音楽学部賞・京都音楽協会賞を受賞。(公財)ロームミュージックファンデーションの奨学生としてアメリカ・ボストン音楽院へ留学、同大学院グラデュエイト・パフォーマンス・ディプロマ科マリンバ専攻を卒業。現在は日本に完全帰国し、北海道札幌市在住。全国で演奏活動、演奏指導を行う。

イタリア国際打楽器コンクールマリンバ部門第1位、南カリフォルニアマリンバコンクール優勝。2013・2014年札幌市民芸術祭奨励賞受賞。第31回日本管打楽器コンクールマリンバ部門第1位および文部科学大臣賞・東京都知事賞を受賞。第28回道銀芸術文化奨励賞(音楽部門)受賞。

杓野勢津子ソロ CD「子供の領分」をリリース。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」にマリンバソロで出演。増井信貴指揮・京都市立芸術大学音楽学部管弦楽団、山下一史指揮・東京シティフィル管弦楽団、そして札幌交響楽団とは3度(高関健、現田茂夫、梅田俊明指揮)ソリストとしてマリンバ協奏曲を共演。

現在、京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師、札幌大谷大学芸術学部音楽学科非常勤講師、ドルチェ音楽教室講師。国内最大マリンバメーカー「こおろぎ社」アーティスト。


打楽器・マリンバを奥田有紀、種谷睦子、山本毅、坂上弘志、小森邦彦、ナンシー・ゼルツマン、布谷史人の各氏に師事。

アルト・サクソフォーン 平賀 真奈美 *Manami Hiraga* 

札幌市出身。洗足学園音楽大学を経て、同大学大学院修士課程修了。在学中ソリストとして選出され、秋山和慶指揮、同大学オーケストラとコンチェルトを共演。2003年頃より札幌を中心に活動を開始し、札幌サンプラザホールにてデビューリサイタルを開催。以後、定期的にソロリサイタル、クワルテット演奏、吹奏楽との共演など様々な演奏活動を行う。パシフィックミュージックフェスティバル、札幌交響楽団へのサクソフォーン奏者としても出演多数。

また北海道各地にて吹奏楽コンクール、アンサンブル・個人コンクールの審査員を務めるなど地域に根差した活動を行っている。2018年クロアチア・ザグレブにて開催された第18回ワールドサクソフォーンコンGRESSにジャパンサクソフォーンオーケストラのメンバーとして参加。

現在、北海道教育大学岩見沢校芸術文化学科、札幌大谷大学芸術学部音楽学科、各非常勤講師。これまでにサクソフォーンを森田寛、須川展也、富岡和男の各氏に師事。

パーカッション 白戸 達也 *Tatsuya Shirato* 

清里町出身。12歳より打楽器を始める。北海道網走南ヶ丘高等学校を経て、2013年北翔大学芸術メディア学科音楽コース打楽器専攻卒業。同大学卒業演奏会、第29回打楽器新人演奏会に出演。

2011年にPMFのオーディションに合格、オーケストラアカデミーに北海道初の打楽器メンバーとして参加。その後PMFには客演奏者として4回、2021年はPMFオーケストラジャパンのメンバーとして参加をしている。

清里町教育委員会より平成23年度文化奨励賞を受賞。

2017年、American Wind Symphony Orchestraの60周年記念ツアーにティンパニ・打楽器奏者として招聘され、和田薫作曲「協奏的3つの断章「序破急」〜ティンパニー、打楽器、二人の和太鼓と管楽器のための〜では打楽器のソリストを務める。

2018年、パリ管弦楽団打楽器奏者ニコラ・マルタンシオ氏のマスタークラスを受講。

現在はフリーの打楽器奏者として、札幌交響楽団などのオーケストラを中心に道内各地で演奏活動を行う。また、コンクールの審査員等も務め、後進の指導にも力を入れている。

これまでに打楽器・マリンバを真貝裕司、杓野勢津子の各氏に師事。北翔大学非常勤講師。北海道打楽器協会理事。

打楽器アンサンブル Esperanza 代表。